

2022年10月18日

キリンホールディングス株式会社

キリンビール株式会社

オムロン株式会社

オムロンによるキリンテクノシステムへの出資について ～安心安全な飲料の供給と、地球環境保全の更なる加速に向けて～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典 以下キリン）のグループ会社である、キリンビール株式会社（社長 堀口英樹 以下キリンビール）とオムロン株式会社（代表取締役社長 CEO 山田義仁 以下オムロン）は、安心安全な飲料の供給に向け、オムロンによるキリンテクノシステム株式会社（代表取締役 細川浩延 以下 KTS）への出資について、株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせします。キリンビールが保有する KTS の発行済み株式のうち 60%をオムロンに譲渡することで、持分比率がオムロン 60%、キリンビール 40%となります。

近年、消費者の食品・飲料に対する安心安全への関心が高まっており、製造現場では、食品・飲料の安心安全を確保する高度な品質管理や品質検査へのニーズが拡大しています。一方、製造業における人手不足の深刻化が加速しており、人に依存した工程の自動化は経営課題となっています。また、社会課題であるプラスチック使用量削減に向けては、品質不良による廃棄物削減が地球環境保護の観点でも重要視されています。従来からの課題であった生産性のさらなる向上に加え、食品・飲料に対する安心安全の担保と、プラスチックや生産エネルギー使用量の削減を通じた地球環境保全を両立するには、検査の高精度化や自動化、不良品の削減が急務となっています。

今回、オムロンによる KTS への出資により、検査データを活用した“製造業 DX（デジタルトランスフォーメーション）”ソリューションを共に開発し、食品・飲料業界の発展に貢献します。オムロンの高度な制御技術と、KTS の検査技術を融合させ、新たな提供価値（ソリューション）を共創していきます。具体的には、検査データから不良となる原因を特定し対策することで、工程内不良を作らない製造現場を目指します。共創により生み出したソリューションを世界中の飲料業界のお客様に展開することで、食品・飲料業界全体の品質改善・生産革新を促進し、不良品の削減などの地球環境保全にも貢献していきます。

オムロンによる KTS への出資により、両社の強みを生かすことで、安心安全な食品・飲料の供給と、地球環境保全に向けた価値を共創し、企業価値のさらなる向上を目指します。

【2社のコメント】

オムロン株式会社 執行役員常務 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー社長辻永順太

「私たちオムロンの制御機器事業は、本年度よりスタートした長期ビジョン SF2030 のもと、事業ビジョン「オートメーションで人、産業、地球の豊かな未来を創造する」を掲げ、豊かな“医”・“食”・“住”を支える産業の持続的な発展と、人・地球の豊かさが両立した未来の社会を創造すべく事業を行っています。今回の出資は、“食”を支える食品・飲料業界の持続的な発展に貢献するための重要な位置づけになります。本出資を通じ、食品・飲料業界の生産現場で重要度が増す“キリンテクノシステムが保有する「検査機」”と、我々の価値創造コンセプト“i-Automation!”が融合することにより、提供価値を進化させ、「安心安全で充実した“食”」の実現に向けて貢献してまいります。」

キリンホールディングス株式会社 常務執行役員 前原正雄 SCM 戦略、生産技術戦略担当

「キリンテクノシステムは、キリンビールのエンジニアリング部が、お客様の健康と安全を守る強い志で開発した光学技術をもとに事業化した、社内ベンチャーの草分け的存在で、今では国内外の数多くの食品飲料・医薬品メーカー様からの信頼を得ることができています。そして、私達キリングループが 2019 年からスタートした長期経営構想キリングループビジョン 2027 では、食から医にわたる領域で価値を創造し、世界の CSV 先進企業となることを目指しており、キリンテクノシステムはその実践のための重要な役割を担っています。今回の出資を通じ、キリンテクノシステムの提供価値を進化・拡大させ、世界のお客様の健康と安全に貢献してまいります。」

<キリンホールディングス株式会社について>

キリンホールディングス株式会社は、「食領域」（酒類・飲料事業）と「医領域」（医薬事業）に加え、「ヘルスサイエンス領域」（ヘルスサイエンス事業）を国内外に展開するグローバル企業です。1885 年に設立されたジャパン・ブルワリーを前身とするキリンビールが 1907 年に創立。以来、発酵・バイオをコア技術として事業を発展させ、1980 年代に参入した医薬事業は今やグローバルで成長、2007 年には純粋持株会社キリンホールディングスとなり、現在は「ヘルスサイエンス」領域を強化しています。

社名： キリンホールディングス株式会社（キリンビール株式会社含む）
設立： 1907 年 2 月 23 日
従業員数： 29,515 人（キリンホールディングス連結従業員数、2021 年 12 月 31 日現在）
売上： 1 兆 8216 億円（2021 年 12 月期キリンホールディングス連結業績）
所在地： 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス

<キリンテクノシステム社について>

キリンテクノシステムは、キリンビールのエンジニアリング部門から独立した検査機メーカーです。

1970 年代に、当時は普及していなかった CCD カメラを用いた高性能びん検査機を開発したことを起点に、高い品質と幅広い実績を積み重ね、国内検査機市場において高いシェアを誇るまでに成長しました。これまでに培った商品力や技術力、サービスを活かしアジアを中心に飲料・食品、医薬、容器製造と幅広い業界で事業展開しています。

社名： キリンテクノシステム株式会社
設立： 1990 年 1 月 11 日
従業員数： 160 名(2022 年 4 月 1 日現在)
所在地： 神奈川県川崎市川崎区大川町 10 番 10 号

<オムロン株式会社について>

オムロン株式会社は、独自の「センシング & コントロール+Think」技術の中核としたオートメーションのリーディングカンパニーとして、制御機器、ヘルスケア、社会システム、電子部品など多岐にわたる事業を展開しています。1933 年に創業したオムロンは、いまでは全世界で約 30,000 名の社員を擁し、約 120 の国と地域で商品・サービスを提供しています。詳細については、<https://www.omron.com/jp/ja/> をご参照ください。

社名： オムロン株式会社
設立： 1948 年 5 月 19 日

従業員数： オムロングループ:29,020 人(2022 年 3 月末時点)
売上： 7,629 億円(2022 年 3 月末時点)
所在地： 京都市下京区塩小路通堀川東入

<“i-Automation!”について>

オムロンは、独自のコンセプト“i-Automation!”を進化させ、モノづくり革新を牽引しながら、地球環境との共存と働く人の働きがいを実現し、持続可能な産業の発展に貢献する新たなオートメーションを創出します。未来のモノづくりに向け、「人を超える自動化」、「人と機械の高度協調」という新たな生産性のあり方を追求し、これらを支える「デジタルエンジニアリング革新」を通じ、オートメーションで人、産業、地球の豊かな未来を創造してまいります。

<https://www.youtube.com/watch?v=nwIJ0fgJqxY>